



～ 普段見られない工事の様子、詳しくお見せします ～

平成 27 年 10 月 23 日
国土交通省中部地方整備局
四日市港湾事務所

【大学生の社会見学】櫓（やぐら）の上から「旬な現場」を学びます

～三重大学生在津市栗真町屋の海岸堤防改良を見学～

1. 概要：

現在、高潮堤防の整備を進めている津松阪港津地区栗真町屋工区に、工事現場を見渡すことができる櫓（やぐら）を設置しました。櫓は高さ 4.0m、幅 3.5m × 5.5m のサイズで、一度に約 20 人が登ることが可能です。

今回、この櫓を活用し、工事現場のすぐ隣にある三重大大学の学生のみなさん（約 40 名）に参加いただく現場見学会を開催することとなりました。本見学会は、工学部建築学科の地盤改良工学の講義の一環として実施するもので、実際の地盤改良（サンド・コンパクション・パイル工法）の施工状況や液状化模型実験の様子をみていただく予定です。

2. 日時：平成 27 年 10 月 30 日（金） 9:00 ～ 10:00（雨天延期）

3. 場所：津地区栗真町屋工区 工事現場

集合場所：若築建設（株）・東亜建設工業（株）現場詰め所（下記【現地集合場所】参照。）

4. 解禁・取材制限：なし。取材にお越しいただける場合は、別紙取材申込票を提出願います。

5. 配布先：中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、三重県政記者クラブ、津市政記者クラブ、
港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

6. 問い合わせ先：国土交通省 中部地方整備局 四日市港湾事務所 津松阪港事務所
赤石（あかいし）、村上（むらかみ） TEL 059-213-3880

【現地集合場所】





【イメージ図】

＜地盤改良工のイメージ＞



＜見学櫓(やぐら)＞



＜模型実験装置＞



台が振動することで、水槽の中に地震発生後の状況を作りだします。

＜振動前＞



＜振動後＞



【津松阪港 海岸保全施設整備事業】

津松阪港海岸は、昭和28年に来襲した台風13号、さらには未曾有の災害をもたらした伊勢湾台風により壊滅的な被害を被り、昭和28年から38年にかけて災害復旧事業として海岸堤防が整備されました。その後、半世紀が経過し海岸堤防の老朽化が著しいことから、液状化対策等を含めた抜本的な高潮対策として整備が必要となりました。

四日市港湾事務所では平成4年度から堤防の改良に着手し、老朽化が著しい松阪地区・三雲地区・香良洲地区・津地区(贄崎工区)の約11kmについて順次事業を進め、平成23年度までに完了したところです。

平成23年度からは新たに津地区(栗真町屋、阿漕浦・御殿場)が新規事業として採択されたことから、延長約5.5km(栗真町屋2km、阿漕浦・御殿場3.5km)について堤防改良工事を実施しています。

【栗真町屋工区】



【阿漕浦・御殿場工区】



取材申込書 (FAX:059-359-0513)

1. 日時 平成27年10月30日(金) 9:00~10:00

2. 集合場所

【現地集合場所】をご覧ください。

【当日の行程】

9:00迄に【現地集合場所】にお集まりください。時間厳守でお願いします。

3. 注意事項

- ・災害等発生時には、止むを得ず中止・延期する場合がございます。
- ・中止、延期が決定した場合、当日8:30までにご連絡を差し上げます。

4. スケジュール

撮影できる状況は、以下のとおり予定しています。

- ・三重大学生が
 - ①津市栗真町屋工区に設置した櫓(やぐら)の上から工事現場を見学する様子
 - ②模型実験装置による液状化現象を見学する様子

※必要事項をご記入のうえ、FAXでお申し込みください。

(平成27年10月28日(水) 16:00締切)

御社名		
取材代表者氏名		
人数	人	
延期・中止の際の連絡先	氏名	
	連絡先	

【担当】

四日市港湾事務所 総務課 二反田・日原
TEL 059-351-1357
FAX 059-359-0513